

1. 規約の改定、構成員の拡充について

河川を横架する鉄道橋については、近年の洪水による橋桁流失や橋脚傾斜などの被害が続いているため、鉄道河川橋梁について、ハード・ソフトを含めた連携を一層促進するべく、協議会への鉄道事業者の参画が呼びかけ。淀川流域治水協議会に、鉄道事業者が新たに参画し構成員を拡充。

